

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	① 公民連携手法の活用	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・民間等のノウハウの活用により、質の高い行政サービスを提供しています。 ・民間等との役割分担により、政策形成、制度設計等の職員自らが実施すべきコア業務に専念できています。 ・外部委託等の公民連携手法の活用範囲の拡大により、人件費等の経費が削減されています。 		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
101	新たな外部委託の検討・導入		検討・導入		
102	公民連携手法の研究		情報収集・研究		
103	PPP(公民連携)推進方針の改訂	情報収集・研究	改訂		

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
101	先進事例の庁内周知および外部委託化可能性調査	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
102	淡海公民連携研究フォーラム等での情報収集	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
103	PPP/PFI手法導入優先的検討方針の策定				開始	→	→	→	→	→	→	→	完了
					開始	→	→	→	→	→	→	→	完了
	計画												
	実績												
	計画												
	実績												
	計画												
	実績												

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	外部委託化可能性調査	目標	実施	—	実施	—
		実績	実施	—		
目標指標	新たな外部委託化実施件数	目標	5	10	15	20
		実績	4	8		
目標指標の進捗状況			計画より遅れている	計画より遅れている		



※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
先進事例の庁内への周知等、外部委託に係る取組を推進しました。また、「草津市PPP/PFI手法導入優先的検討方針」について、内閣府の支援制度を活用し、専門的な知見、ノウハウ等を取り入れながら策定作業に取り組みました。	「新たな外部委託化実施件数」について、目標に及ばなかったものの、システムサポートセンター管理委託対象業務の拡大を行う等、公民連携手法の活用を推進しました。また、公共施設等を所管する担当部署が、PPP/PFI手法の導入を優先的に検討するための基本的な考え方や手順等を整理した「草津市PPP/PFI手法導入優先的検討方針」を策定しました。	目標値に対する進捗が遅れていることに留意し、引き続き先進事例の庁内への周知等を行い、外部委託に係る取組を推進する必要があります。また、「草津市PPP/PFI手法導入優先的検討方針」の基準に該当する事業については、官民対話の実施等を通じてPPP/PFI手法の導入を検討する必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	② 広域連携の推進	担当課	企画調整課、経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・広域的な行政の枠組みの場において、近隣自治体と定期的に情報を共有し広域的な課題の解決に向けて取組を進めています。 ・行政課題に対応するため、複数の自治体で協力して共同研究や事業を共同で実施しています。 ・従来の協議会形式に限らず、先端技術を活用していくための自治体連携の取組を進めています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
201	広域的な行政の枠組みへの参加	定例会等での情報共有			
202	おうみ自治体クラウド協議会での共同事業の検討	RPA共同利用		継続実施（予定）	
203	スマート自治体滋賀モデル研究会での共同事業の検討	事業実施			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
201	湖南総合調整協議会総会への参加	計画	→	→	→	→	○	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	○	→	→	→	→	→	→
201	草津・栗東広域行政協議会の開催	計画	→	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	○	→	→	→	→	→	→	→	→	→
201	滋賀県草津線複線化促進期成同盟会総会への参加	計画	→	→	→	→	○	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	○	→	→	→	→	→	→
201	京都都市圏自治体ネットワーク研修会への参加	計画	→	→	→	○	→	→	→	→	○	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	○	完了
201	湖南広域行政組合議会定例会への参加	計画	→	→	→	→	→	→	→	○	→	○	→
		実績	→	→	○	→	→	→	○	→	→	○	→
202	AI-OCR、RPAの運用管理(再掲)	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
203	内部管理システムの共同調達にかかる研究(再掲)	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
203	琵琶湖オープンデータの推進に向けたシステムの運用およびデータ活用に向けた取組の推進(再掲)	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

指標管理		R3	R4	R5	R6
先行指標	目標	—	—	—	—
	実績	—	—		
目標指標	目標	3	6	10	15
	実績	3	5		
目標指標の進捗状況		計画通り	計画より遅れている		

進捗状況（目標指標）

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
新型コロナウイルス感染症対策として、書面開催としていたものを、感染対策を講じつつ、対面開催を行うなど、近隣市との連携を図りました。また、広域的な共同事業の取組のひとつとして、滋賀県が開催するスマート自治体滋賀モデル研究会に参画し、県内自治体とICTの活用施策に係る情報交換等を行いました。	概ね工程表の計画どおり、参画している協議会等に参加でき、近隣市との広域連携の推進を図りました。また、新たに「滋賀県地球温暖化防止活動推進員湖南4市定例会議」および「草津栗東行政事務組合」を設立し、広域連携の推進を図りました。	広域的な共通目的等の達成に向けて、より効果的な活動等が行えるよう、引き続き近隣市等との連携を図る必要があります。また、日々、新たな先端技術等が開発されることから、引き続き複数の自治体と協力しながら、効果的に事業等を実施できるよう努める必要があります。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	③ プロジェクトチーム方式の活用	担当課	経営戦略課
		関係課	職員課、各課
目指す姿	・複雑、多様化する行政課題に対応するため、関係所属の職員が組織横断的に参加するプロジェクトチームを設置し、限られた時間のなかで、参加職員の知識や経験を活かした効果的な解決策を創出しています。		

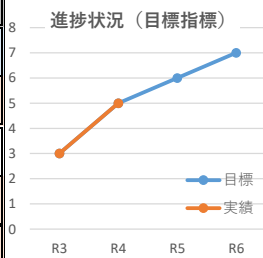
策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
301	プロジェクトチーム方式を活用した政策立案		プロジェクトチーム方式を活用した政策立案		
302	プロジェクトチーム活動に対する庁内の理解の促進		プロジェクトチーム活動の啓発		
303	プロジェクトチーム方式の効果的な運営方法の検討	研究・検証		見直し検討	

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
301	業務改革推進チームによる検討	計画		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
301	健幸都市づくり推進チームによる検討	計画		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
302	草津市プロジェクトチームの設置等に関する要綱の全庁周知	計画	完了										
		実績	完了										
303	他市、民間企業等の事例調査・研究	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-		
目標指標	プロジェクトチームの設置数	目標	3	5	6	7
		実績	3	5		
目標指標の進捗状況			計画通り	計画通り		



※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
令和3年度取組内容を周知し、ペーパーレス化の推進等を図りました。また、部局を横断する事業、課題や、計画の立案、実施に当たっては、プロジェクトチームの活用を検討するよう周知しました。	「業務改革推進チーム」、「健幸都市づくり推進チーム」の2つのプロジェクトチームを設置し、政策の立案や電子決裁システムの運用に向けた取組等、一定の成果を上げることができました。	プロジェクトチーム方式の更なる活用のため、引き続き庁内に周知を図る必要があります。また、より効果的な運営方法を検討するため、他市・民間企業等の事例調査・研究を行う必要があります。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	④ 国・県の提案募集方式の活用	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・国・県の事務・権限や、地方に対する規制に関わる支障事例について、各所属において日頃から問題意識を持ち、改善アイデアを検討しています。 ・国、県が実施する「地方分権改革における提案募集」等の機会を活用し支障事例の解決に向けた提案を行っています。 ・各自治体からの提案に対する国の回答を把握し、制度や事務についての理解を深め、業務の適正化や効率化に役立っています。		

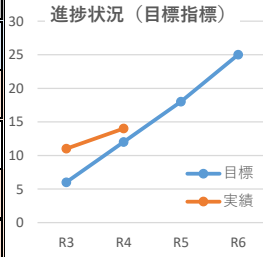
策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
401	国・県の提案募集制度の活用	周知・啓発			
		支障事例の改善方を国・県等へ提案			
		国等からの回答結果の把握・分析・活用			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
401	国・県への提案事業等の全庁照会	計画	開始	→	完了								
		実績	開始	→	完了								
401	他市町の提案に対する共同提案の意向確認	計画			開始	完了							
		実績			開始	完了							
401	国・県の検討結果の全庁周知	計画									完了		
		実績									完了		
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理		R3	R4	R5	R6
先行指標	目標	—	—	—	—
	実績	—	—	—	—
目標指標	目標	6	12	18	25
	実績	11	14		
目標指標の進捗状況		計画より進んでいる	計画より進んでいる		



※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
国・県への提案事業について、各所属が提案できるよう、募集内容や他自治体の提案状況等の周知を行いました。	国・県の提案募集方式を活用し、「介護予防支援に係る民間法人の参入」等、3件の共同提案を提出しました。	国・県の事務・権限や、地方に対する規制に関わる支障事例について、各所属において日頃から問題意識を持ち、改善へつなげられるよう、随時情報提供を行う必要があります。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	⑤ 情報化推進計画に基づく取組の推進(行政運営の効率化)	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・先端技術(AI・RPA等)の導入に向けた検証を経て、導入効果の高い業務への本格導入・活用が進むことで、効率化が図られ職員がコア業務に専念しています。 ・情報システムにおいてクラウド化が進み、運用が標準化されることで経費が削減されています。 ・職員がICTを積極的に活用することで、行政サービスの質や職員の業務効率が向上しています。		

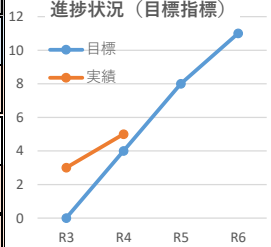
策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
501	RPA活用業務拡大・先端技術の検討・導入		検討 導入		
502	スマート自治体滋賀モデル研究会での共同研究		事業実施		
503	おうみ自治体クラウド協議会でのRPAの共同利用	共同利用		共同利用(予定)	

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
501	プロジェクトチームによる拡大業務の検討	計画		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
502	内部管理システムの共同調達にかかる研究(再掲)	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
503	AI-OCR、RPAの運用管理(再掲)	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	先端技術導入効果検証数	目標	4	8	11	13
		実績	3	3		
目標指標	コストや職員の作業時間の削減効果が見込める業務へ先端技術(AI・RPA等)の導入件数	目標	0	4	8	11
		実績	3	5		
目標指標の進捗状況			計画より進んでいる	計画より遅れている		



※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
複数の部局から分野横断的に職員が参加する「業務改革推進チーム」を設置し、RPAの操作研修会を実施するなど、先端技術の活用による業務改善および人材育成を図りました。	新たに「文書管理・電子決裁システム」、「預貯金調査システム」を導入し、行政事務の効率化を図りました。 また、令和3年度に導入した「ビジネスチャット」について、災害対応時の情報伝達手段とするなど、活用促進を図りました。	日々、新たな先端技術等が開発されることから、組織として情報収集に努める必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■業務プロセスを進化させるための取組

実施項目	⑥ 事務事業の点検とBPR手法を活用した業務の見直し	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・先端技術の活用を含めた業務プロセスの再構築について、各所属内だけでなく、所属をこえて職員が協力して実行しています。 ・職員が日々の業務を通じて感じている業務の改善アイデアが職員提案として提出されています。採択された提案が実行されることで、行政サービスや職員の生産性が向上しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
601	事業見直しチェックリストを活用した事務改善		自己点検	事務改善	
602	職員提案制度の実施		募集・提案	内容の実施	
603	職員提案制度の見直し	調査	研究	見直し	実施

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
601	予算要求時に事業見直しチェックリストでの自己点検の実施	計画							開始	完了			
		実績							開始	完了			
602	提案募集全庁照会	計画	開始	完了									
		実績	開始	完了									
602	提案事業等への職員アンケート・審査	計画			開始	→	→	→	→	→	→	完了	
		実績			開始	→	→	→	→	→	→	完了	
602	関係所属への実現検討依頼	計画				開始	→	→	完了				
		実績				開始	→	→	完了				
603	他市、民間企業等の事例調査・研究	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	職員提案数	目標	40	80	120	160
		実績	43	102		
目標指標	業務プロセスの改善数	目標	0	4	8	12
		実績	13	21		
目標指標の進捗状況			計画より進んでいる	計画より進んでいる		

※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
事業見直しチェックリストや職員提案制度の全庁的な照会、審査を通じて、庁内における対象業務の発掘に努めました。	業務プロセスの改善数について、プロジェクトチームの活用等により、児童手当現況届入力業務等にRPAを導入し、人件費等の削減を図ることができました。	引き続き先端技術の活用を検討し、職員の意識改革や業務の標準化、業務プロセスの見直しを継続的に行っていく必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑦ 人材育成の推進と職員の適正配置	担当課	職員課
		関係課	各課
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・職員一人ひとりが人材育成の重要性を認識し、職員の意欲や能力を高め、発揮できる職場風土が醸成されています。 ・職員一人ひとりが職務の遂行に必要な能力を高めるとともに、それぞれの職階・職制ごとの役割を果たすことで組織力を最大限に発揮し市民福祉の向上につながっています。 ・各部署、チームが組織目標を達成するにあたって必要となる能力や課題を認識し、中長期的な観点から人材の育成・確保や能力開発に計画的かつ組織的に取り組んでいます。 ・定員管理計画に基づき、行政需要に応じた適正な職員数を管理するとともに、職員の意向や適性を見極めた職員配置を行っています。 		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
701	職員・組織の理念ビジョンの明確化		運用		
702	人材育成評価制度の運用		運用		
703	適正な定員管理		運用		

今年度の計画

関連ID	タスク		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
701	職員研修の実施	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
702	人材育成評価制度の運用	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
703	組織機構に係る情報収集・検討	計画				開始	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績				開始	→	→	→	→	→	→	→	完了
703	組織機構・人員配置の決定 (自己申告調査・人事異動)	計画									開始	→	→	完了
		実績									開始	→	→	完了
		計画												
		実績												
		計画												
		実績												

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	職員アンケートに基づく職員満足度 (%)	目標	指標検討のためのアンケート実施	58	61	65
		実績	実施済み	56		
目標指標	「職員力の向上」についての市民満足度 (%)	目標	17.4	18.8	20.2	21.7
		実績	20.7	18.7		
目標指標の進捗状況			計画より進んでいる	計画より遅れている		

進捗状況 (目標指標)

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
<p>評価者や被評価者に対して、人材育成評価制度の浸透を図るための研修を実施しました。また、評価結果と合わせ職員個々人の能力開発やスキルアップに適する研修を提供するなど、職員に合わせた人材育成に努めました。</p>	<p>人材育成評価制度の結果開示時に平均点や点数分布を評価者に示すことにより、自身の評価の甘辛について振り返りを促すなど、評価制度の適正な運用に向けて取り組みました。</p>	<p>引き続き評価の目線合わせや評価水準の均一化などの評価者に対する支援を行う必要があります。</p>

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑧ 職員の意識改革と働き方改革	担当課	職員課
		関係課	経営戦略課、各課
目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> ・市民目線での業務の効率化やICT等の先進技術の活用を進めることにより、市民サービスの質の向上と生産性の向上を図っています。 ・働き方改革の取組の中心に職員の意識改革を据え、「草津市役所の、自分たちの働き方改革」を実現することにより、職員のモチベーションの向上につなげています。 ・時間外勤務の縮減を図り、ワーク・ライフ・バランスを実現することで職員の心身の健康維持に努めています。 		

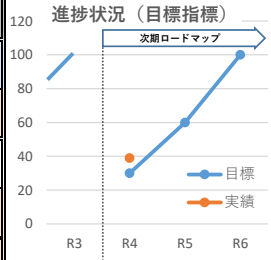
策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6	
801	働き方改革ロードマップ「Kusatsu Smart Project」に基づく取組の推進	取組の推進				
		効果検証				
		次期ロードマップ策定	取組の推進			
					効果検証	
802	職員の心身の健康づくり	ストレスチェックの実施				
		健康づくりの取組				

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
801	働き方改革ロードマップ「Kusatsu Smart Project II」の実施	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
801	テレワークの利用条件の緩和の検討	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
801	時差勤務制度の推進、フレックスタイム制度の導入検討	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
801	超過勤務縮減のための取組促進(時間外勤務月次管理表の活用、勤務間インターバル制度の導入検討)	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
802	ストレスチェックの実施	計画				開始	→	→	→	→	完了		
		実績								開始	→	→	完了
802	健幸宣言に基づく取組	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

指標管理		R3	R4	R5	R6	
先行指標	職員アンケートに基づく職員満足度(%)	目標	指標検討のためのアンケート実施	58	61	65
		実績	実施済み	56		
目標指標	働き方改革ロードマップの進捗率(%)	目標	100	30	60	100
		実績	100	39		
目標指標の進捗状況		達成	計画通り			



進捗状況(目標指標)

次期ロードマップ

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
各種取組を実践するにあたり、先進事例や他市動向などを検証のうえ、取組項目の効果や影響などを踏まえ、効果的な取組となるよう随時検討を行いました。	第1期ロードマップの取組内容を踏まえ、継続して実践する項目や新たに取り組み項目を精査し、実践可能な項目から取組を実践することができました。	ロードマップに基づく取組の推進を図るために検討が必要な項目について、引き続き効果検証や制度設計などの検討が必要です。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑨ 財政規律ガイドラインに基づく取組の推進	担当課	財政課
		関係課	経営戦略課、各課
目指す姿	・第6次草津市総合計画に掲げる施策の確実な実行を推進しつつも、本市が将来にわたって持続的に発展していけるよう、各種財政指標等について目標値を設定することにより、財政規律の確保を図るとともに、健全な財政運営を維持しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
901	条例・ガイドラインに基づく決算分析や予算編成	運用			
902	次期ガイドラインの改訂	検討・策定			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
901	条例・ガイドラインに基づく決算分析	計画			開始	→	完了						
		実績			開始	→	完了						
901	条例・ガイドラインに基づく予算編成	計画							開始	→	→	完了	
		実績							開始	→	→	完了	
902	次期ガイドラインの策定	計画	開始	→	→	→	→	完了					
		実績	開始	→	→	→	→	完了					
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
目標指標	予算・決算における各種財政指標の分析を通じた健全な財政運営の維持	目標	維持	維持	維持	維持
		実績	維持	維持		
目標指標の進捗状況			計画通り	計画通り		

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
財政規律ガイドラインに定める各種指標を意識した予算編成・執行に取り組みました。	各種指標については、一時的に基準を超過する指標も一部においてあったものの、健全な財政を維持できています。また、引き続き財政規律の確保を図り、健全な財政運営を維持するため、第2期財政規律ガイドラインを策定しました。	物価高騰、社会・国際情勢等の変動がもたらす影響や、人口減少・縮小型社会に適切に対応しつつ、財政規律の確保に留意し、健全な財政運営を維持していくための取組を継続して行っていく必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑩ 使用料等の適正化と公平性の確保	担当課	経営戦略課
		関係課	財政課、各課
目指す姿	概ね3から5年の間隔で、公共施設や行政サービスを利用する市民と利用しない市民の立場を考慮しながら全庁的な見直しを実施し「市民負担の公平性」を維持しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1001	全庁的な見直し	検討	実施	改訂	
1002	制度改正等に伴う随時見直し	適宜実施			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1001	全庁的な見直しの方針策定	計画	完了										
		実績	完了										
1001	全庁的な見直し実施	計画		開始	→	→	→	→	→	完了			
		実績		開始	→	→	→	→	→	完了			
1001	見直し結果の周知	計画								開始	→	→	完了
		実績								開始	→	→	完了
1002	所管課との協議	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	実施方針の策定	目標	検討	策定	—	—
		実績	検討	策定	—	—
目標指標	全庁的な見直しの実施	目標	—	実施	—	—
		実績	—	実施	—	—
目標指標の進捗状況			計画通り	達成		

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
行政の一貫性の観点から、前回見直し時(平成29年度)の考え方を踏襲した上で、令和元年10月の消費税率引上げや、会計年度任用職員制度への移行、新型コロナウイルス感染症の影響等を考慮し、見直し方針を策定しました。	見直し方針に基づき、「市民負担の公平性」と「適正な受益者負担」を図ることを目的として、130件の見直しを行いました。見直しの結果、料金を改定したものについては、市民等へ丁寧な周知を行いながら進めました。	3～5年ごとの定期的な見直しをルール化しており、直近の物価高騰等の状況を注視しながら、令和7年度以降に見直しを行います。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	① 新たな財源の確保	担当課	経営戦略課
		関係課	財政課、各課
目指す姿	・新たな財源の確保をめざして、他の自治体の先進事例の把握や民間等からの提案を受け付けるなど様々な手法を研究し、知見やネットワークを蓄積しています。 ・財源確保の知見を踏まえ、本市における実現可能性を検証したうえで、戦略的かつ効率的な確保策を導入しています。 ・プロジェクトチーム方式の活用等により、職員の財源確保に対する意識が向上し、全庁的に新たな財源の確保が行われています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1101	新たな財源確保の調査・研究	調査・研究			
1102	財源確保ルールの策定・実施	策定		実施	

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1102	ガイドラインの策定	計画	開始	→	→	→	→	→	完了				
	実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
1102	ガイドラインに基づく取組の実施・進捗管理	計画							開始	→	→	→	→
	実績								開始	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理		R3	R4	R5	R6	
先行指標	ガイドラインに基づく、財源確保可能性調査回答数	目標	—	5	10	15
		実績	—	1		
目標指標	新たな財源確保数	目標	—	1	2	3
		実績	—	1		
目標指標の進捗状況		計画通り	計画通り			

※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
「第2期草津市財政規律ガイドライン」(令和5年度～令和14年度)に基づき、ネーミングライツやクラウドファンディングについて、全庁的な取組に広げられるよう、それぞれ内部の指針を定めました。なお、ネーミングライツについては、民間事業者との対話を通じて、広く意見・提案を求める(サウンディング型)市場調査を行った上で指針を策定し、より実効的な指針とすることができました。	「第2期草津市財政規律ガイドライン」(令和5年度～令和14年度)を策定し、ガイドラインの取組項目に「新たな財源の確保」を掲げ、企業版ふるさと納税制度の活用等、本市に適した新たな財源の確保に努めました。	ネーミングライツやクラウドファンディング等の財源確保策について、引き続き全庁的な取組として推進していくとともに、先進事例等の研究・検証を行い、費用対効果が見込める手法については、積極的に取り組んでいく必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑫ 公共施設等総合管理計画に基づく施設マネジメント	担当課	経営戦略課
		関係課	総務課、各課
目指す姿	・現在の施設規模(延床面積・施設数等)で再整備を行っていった場合の長期的な費用見通しを明らかにします。(新設・建替・統廃合を行う場合の判断根拠とする。) ・長期的な公共建築物の新設・統廃合を含めた再整備計画の方針策定に向けた、検討スケジュール、プロセス、推進体制を明らかにします。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1201	公共施設等総合管理計画に基づく目標値の管理	フォローアップ			
1202	公共施設等総合管理計画の改訂	改訂			
1203	公共施設等の再整備方針等の作成	調査・研究			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1201	年次フォローアップ	計画										開始	完了
		実績											開始
1203	他市の事例調査・研究	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
目標指標	人口一人当たりの公共建築物延べ床面積(m ² /人)	目標	2.6	2.6	2.6	2.6
		実績	2.7	2.7		
目標指標の進捗状況			計画より遅れている	計画より遅れている		

2.8 進捗状況(目標指標)

2.7

2.6

2.5

R3 R4 R5 R6

● 目標 (Blue line)

● 実績 (Orange line)

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
令和4年3月に改訂した「草津市公共施設等総合管理計画」に基づき、公共施設等の総合かつ計画的な管理を図るため、随時、公共施設等を所管する担当部署と、施設のあり方等について協議を行いました。	各公共建築物の増改築等の状況を調査し、目標指標である「人口一人当たりの公共建築物延べ床面積」の現状確認を行いました。 また、公共施設等を所管する担当部署が、PPP/PFI手法の導入を優先的に検討するための基本的な考え方や手順等を整理した「草津市PPP/PFI手法導入優先的検討方針」を策定しました。	目標指標を超過していることに留意しながら、施設の長寿命化や維持管理の適正化を進めていく必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑬ ファシリティマネジメントの推進	担当課	総務課
		関係課	各課
目指す姿	・計画的な点検や劣化度調査、保全計画に基づく長寿命化により維持管理コストの縮減を図ります。 ・新たな維持管理手法の導入の調査・研究により、施設の維持管理業務の効率化を図られています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1301	定期点検・劣化度調査の実施	定期点検・劣化度調査			
1302	短期実施計画の年次改訂	年次改訂の実施			
1303	中長期保全計画の改訂	改訂			実施
1304	新たな管理手法の導入検討	調査・研究			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1301	定期点検・劣化度調査の実施		開始	→	→	→	完了						
			開始	→	→	→	完了						
1302	短期実施計画の年次改訂	開始	→	→	→	→	→	完了					
		開始	→	→	→	→	→	→	完了				
1303	中長期保全計画の改訂	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了	
		→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了	
1304	新たな管理手法の導入	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→

指標管理		R3	R4	R5	R6
先行指標	業務仕様の検討	目標	検討	-	-
		実績	検討	-	-
目標指標	新たな維持管理手法の導入の検討結果の整理	目標	完了	-	事業の実施
		実績	完了	-	事業の実施
目標指標の進捗状況		達成	-		

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
最新の劣化度調査の結果を踏まえ、中長期保全計画を改訂し、併せて、短期実施計画の年次改訂を行いました。 また、新たな管理手法として、包括管理業務の令和5年度実施に向けて、金額だけの選定ではなく、プロポーザル方式により提案を審査の上、当該業務の受託者を決定しました。	中長期保全計画の改訂により、最新の劣化度による長寿命化工事が可能となり、より適正な工事の執行を今後実施することができるようになりました。 また、施設の維持管理業務の効率化を図るための包括管理業務の令和5年度実施に向けての準備を予定どおり進めることができました。	令和5年度からの包括管理業務の開始にあたり、円滑に業務が遂行できるよう受託者や施設所管課と連携を密にする必要があります。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑭ 公共施設の運営の効率化	担当課	総務課
		関係課	各課
目指す姿	・民間等の創意工夫やノウハウを活かし、行政サービスの向上や管理運営の効率化を継続的に図られています。 ・指定管理者が安定的かつ継続的に事業を行える経営状態であるか適切に判断しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1401	指定管理者制度の導入	検討・導入			
1402	外部委員会による評価	評価			

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1401	指定管理者制度運用ガイドラインの見直し(委員会運営等)	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	完了
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1402	外部評価委員会の開催	計画				開始	→	→	→	完了			
		実績						開始	→	→	→	→	完了
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	—	目標	—	—	—	—
		実績	—	—	—	—
目標指標	新規指定管理者制度導入施設数	目標	1	1	1	2
		実績	1	1	—	—
指標の進捗状況			計画通り	計画通り	—	—

※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
指定管理者制度導入済みの施設について、運用ガイドラインに基づき評価を行うとともに、指定管理者が安定的かつ継続的に事業を行えるか経営状況の確認を行いました。	運用ガイドラインに基づく評価により、利用者に対するサービスの向上や施設運営の効率化に努めました。	指定管理者制度運用ガイドラインの見直しについて、令和4年度においては、具体的にどのような見直しをするのか決定し、必要な条例改正等を行いました。令和5年度においては、前年度に見直した内容をガイドラインに反映させます。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑮ 市有空閑地の活用・処分	担当課	企画調整課
		関係課	各課
目指す姿	・一定規模以上の市有空閑地について、庁内各所属や県、関係機関と情報を共有することで、利活用の方針を定めています。 ・公共的な利用予定のない市有空閑地については、民間への売却等を検討しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1501	利活用の検討		検討		
1502	大規模空閑地の状況確認		状況確認		
1503	利活用方策の調査・研究		調査・研究		

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1501 1502 1503	空閑地の利活用に向けて、公共利用や処分を含めた民間活用の可能性について検討	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1502	各課の取組状況確認のための全庁照会	計画										開始	完了
		実績										開始	完了
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	大規模(1,000㎡以上)空閑地の利活用方針検討数	目標	2	2	3	3
		実績	4	4		
目標指標	大規模(1,000㎡以上)空閑地の利活用方針決定数	目標	2	2	3	3
		実績	4	4		
目標指標の進捗状況			計画より進んでいる	計画より進んでいる		

※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
市内大規模空閑地の公共利用や処分を含めた民間活用が可能かどうかの検討をし、利活用に向けての課題整理を行い、一部について利活用の方針を定めました。	活用可能性のある空閑地を保有する関係課等において公共利用による活用の可能性や、処分を含めた民間活用のあり方について検討を行いました。	土地開発公社で購入した土地について、草津市総合計画や都市計画マスタープランに沿った土地利用が図られるよう、留意しながら取組を進める必要があります。

草津市行政経営改革プランの実実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑩ 大規模事業の実施状況の確認	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・大規模事業(不特定多数の市民が利用し、総事業費が概ね5億円以上)が完了した数年後に第三者の視点により、事業の実施状況が確認され、大規模事業の妥当性が検証されています。 ・検証で得られた知見を、次期大規模事業に反映するための仕組みが検討され、運用されています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3			R4			R5			R6		
1601	大規模事業の実施状況確認				実施								
1602	検証結果を次期大規模事業に反映する仕組みの検討				検討・導入・次期大規模事業への反映								

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1601	大規模事業の実施状況確認	計画					開始	→	→	完了			
		実績					開始	→	→	→	→	完了	
1602	他市の事例、調査・研究	計画	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	開始	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	実施方針の策定	目標	検討	策定	—	—
		実績	検討	策定		
目標指標	実施状況を確認した大規模事業の件数	目標	0	3	3	3
		実績	0	2		
目標指標の進捗状況			計画通り	計画より遅れている		



※各年度の目標値は累計

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
クリーンセンターおよびYMITアリーナを対象施設として実施方針を策定し、第三者の視点等から「草津市行政経営改革推進委員会」による評価を行うこととしました。評価に当たっては、現地視察や、担当課からの詳細な説明の機会を設定しました。	クリーンセンターおよびYMITアリーナの整備・運営状況について、現地視察や担当課からの詳細な説明等を通じて、市民参加による確認(第三者のそれぞれの立場から、意見を言える場)の機会を創出でき、いずれの事業についても、概ね良好な評価となりました。	目標値に対する進捗が遅れているものの、令和4年度に評価の対象となる施設(不特定多数の市民が利用し、総事業費が概ね5億円以上の大規模事業施設のうち、数年が経過したもの)については、クリーンセンターおよびYMITアリーナの2施設として整理しています。今後、他の施設の確認について検討します。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑰ 情報化推進計画に基づく取組の推進(オープンデータの推進)	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・市民や事業者において、地域課題の解決を目的にしたオープンデータの活用が図られるように取組を進めています。 ・オープンデータを活用した新たな事業を創出し、行政サービスの効率化が図られています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1701	オープンデータカタログの運用		公開・更新		
1702	オープンデータの活用促進		調査・研究		
1703 (203)	(仮称)琵琶湖オープンデータの構築・運用		構築・運用		

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1701	オープンデータカタログサイト、くさつマップの運用	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1702	国からの標準データ内容を準拠したデータ公開の促進	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
1703 (203)	琵琶湖オープンデータの推進に向けたシステムの運用およびデータ活用に向けた取組の推進(再掲)	計画	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		実績	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→	→
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	-	目標	-	-	-	-
		実績	-	-	-	-
目標指標	(仮称)琵琶湖オープンデータの構築・運用	目標	構築	運用	運用	運用
		実績	構築・運用	運用		
目標指標の進捗状況			計画より進んでいる	計画通り		

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
国の標準データセットに準拠したデータの公開に向けて、庁内においてデータセットの掲載状況を随時案内し、啓発を行いました。	オープンデータカタログサイトのデータの充実度を高めるとともに、オープンデータカタログの利活用推進に向けて、県主催の研修等により検討・研究を進めました。	引き続き、オープンデータカタログサイトおよびくさつマップのサイト内容の充実を図る必要があります。

草津市行政経営改革プランの実施計画工程表(R4)

■経営資源をよりよい状態で引き継ぐための取組

実施項目	⑱ 業務見直し工程表の活用による既存事業や業務の見直し	担当課	経営戦略課
		関係課	各課
目指す姿	・各所属で「業務見直し工程表(スクラップロードマップ)」が既存事業の廃止を含めた検討を行うツールとして活用され、新たな行政課題に対応するための余力(財源、時間)を創出しています。		

策定当初の計画

ID	取組項目	R3	R4	R5	R6
1801	業務見直し工程表の策定	毎年度策定			
1802	業務見直し工程表のフォローアップ	フォローアップ			
1803	スクラップリストの策定				策定

今年度の計画

関連ID	タスク	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1801	対象事業の募集(全庁照会)	計画		開始	完了								
		実績		開始	完了								
1801	対象事業の決定	計画			開始	→	→	→	完了				
		実績			開始	→	→	→	→	→	→	完了	
1802	過年度策定事業のフォローアップ	計画		開始	→	→	→	→	→	完了			
		実績		開始	→	→	→	→	→	→	→	完了	
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											
		計画											
		実績											

指標管理			R3	R4	R5	R6
先行指標	新規対象事業決定数	目標	30	40	50	60
		実績	19	24		
目標指標	業務見直し工程表の活用による事業費の削減額(万円)	目標	2,000	4,000	6,000	8,000
		実績	138 (417)	1,660 (△707)		
目標指標の進捗状況			計画より遅れている	計画より遅れている		

進捗状況(目標指標)

● 目標 (青い線)

● 実績 (オレンジ色の線)

※各年度の目標値は一般財源額の累計。()は事業費。

(期末評価)

工夫・改善	取組成果	課題
過年度に策定した業務見直し工程表(スクラップロードマップ)について、進捗状況を把握するとともに、新規案件の積上げに向け、担当課との調整等を行いました。	財政運営計画に併せて新たに5項目の業務見直し工程表(スクラップロードマップ)を策定し、事業の見直しや業務の効率化を図りました。また、工程表に基づき、「AI-OCR」等の事業の廃止・見直しを行い、1,522万円の事業費を削減しました。	目標値に対する進捗が遅れていることに留意し、既存案件の進捗管理および更なる案件の積上げを行う必要があります。